



## みんな違っていい

副校長 井上 江見子

新緑の季節を通り越え、初夏の陽気を感じられる季節となりました。ゴールデンウィークに満開となるツツジの花が咲き終え、もうバラの花が咲いています。校庭の桜やいちょうの木々は、青々と葉を茂らせ気持ちよい木陰を作っています。

4月6日、入学式。2年生が育てたチューリップの花が咲き、体育館入口近くで新しい1年生を迎えました。色とりどりの花が「ようこそ、中野本郷小学校へ」と言っているかのように風に揺れて気持ちよさそうに咲いていました。私も習った「チューリップ」の歌は、今の小学生も知っている曲です。誰もが知っているこの曲の歌詞は「どのはなみても きれいだな」で結ばれます。どの花も似ているようで違い、芽が出る時期も、つばみの日も花が咲いた日も違います。花に例え、人もみんな違っていいとメッセージで、人はそれぞれよさがあるということだと思います。

世界最古の木造建築の法隆寺や薬師寺の塔の内部は、不揃いの材木でできていて、木が支え合って千数百年経っても現存しています。建築物は場所によってかかる力の強さや方向が異なるため、それぞれの木材の強度に合わせて組み合わせるそうです。学校では、それぞれ個性をもつ児童が学んでいます。みんな違って、みんなのよさを出し合えれば、児童が互いに育つ環境になると願います。

多くの担任教員が児童に向けて読んでいる絵本「教室はまちがうところだ」は、教室はまちがうところだから、まちがっていいんだという内容です。その中の「みんなで出しあい言いあうなかでだ ほんののものを 見つけていくのだ そうしてみんなで伸びていくのだ」の言葉から、違いがあるからこそ、互いに影響し合って伸びていくのだと私は考えます。

さて、「中野区子どもの権利に関する条例」が2022年4月にスタートしました。中野区では子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を大切に考えています。どんなことが保障されるか、4月に中野区から配布されたリーフレットに分かりやすく記載されていましたのでご紹介します。

- ・学び、休み、遊ぶこと。そのために必要な環境が整えられること。
- ・たたかれない、どなられないこと。 ・失敗してもやり直せること。
- ・子どもであっても、きちんと話を聞いてもらえること。 ～小学校4・5・6年生版より抜粋～

学校、ご家庭、施設や団体・お店などを含む地域の皆様が一体となって子どもの権利を守れますようご支援をお願い申し上げます。

今月27日の学校公開で中野本郷スポーツデーを実施します。子どもたちは、本番に向けて精一杯頑張っています。今年は保護者の方の人数制限がございませんので、多くの方にご来校いただけますと幸いです。みんな違っていい。みんなで伸びている姿をご覧ください。

## 5月の生活目標 友だちと仲よく助け合おう

新年度が始まって1か月。子どもたちは、新しい学級、新しい友達、新しい学年にも慣れてきたころではないでしょうか。学習に、休み時間の遊びに、それぞれの仕事に、張り切っている子どもたちの姿が学校のあちこちで見られます。27日のスポーツデーに向けて各学年で練習も始まりました。

5月の生活目標は「友だちと仲よく助け合おう」です。学校生活の様々な場面で友達と気持ちよく関わっていくために、優しく声をかけること、気持ちよく挨拶すること、相手を思いやって行動することなどを指導していきます。スポーツデーの練習や準備にも、友達との協力は欠かせません。友達と助け合って素晴らしいスポーツデーになるよう声をかけていきます。ご家庭でも、お子様との日頃の会話の中に学校生活のことを話題にしてみてください。

(生活指導委員会 )